

3 話す技術(delivery)

発表では、「発表に臨む姿勢(posture)」「適切な発声(voice)」「聴衆との対話(eye contact)」を意識しながらわかりやすく説明する必要がある。			
	postureについて	voiceについて	eye contactについて
十分 評価4	ほとんどメモを見ることなく、発表、質疑応答ともに自信を持ってできている。聞き手を魅了するものとなっている。質疑応答では質問者の意図がよく理解できており、想定外の質問にも的確に答えられている。	音量、発音ともに適切で明瞭である。読み間違いがなく、聞きやすい。スピードも適切である。	聞き手と適切に視線を合わせ、聞き手の反応を確認しながら間合いを取ったりスピードを調節したりしながら的確に伝えることができている。
おおむね十分 評価3	発表は自信を持ってできている。質疑応答においても概ね的確に答えられているが想定外の質問には窮する場面もある。	音量、発音とも概ね適切で明瞭である。スピードも適切である。	視線を合わせ、聞き手の反応を確認しようと努力している。しかし、それをうまくプレゼンテーションに反映できていない。
やや不十分 評価2	メモを見ながら発表していて、質疑応答時には質問者の意図が理解できなかったり、答えに窮する場面が多い。	音量、発音ともに概ね適切であるが、音量に変化があったりスピードが速すぎて聞き取れないこともある。	アイコンタクトを取るのは時折である。
不十分 評価1	ほとんどがメモを見ながらの発表であり、自信、意欲ともにない。	つぶやくように話し、読間違いが多く、聞き取れない内容である。	視線を合わせることなく一方的な説明となっている。